

各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

(様式1)

〈団体名〉 公益社団法人 大阪自然環境保全協会

◆ 取組内容 「淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク（イタセンネット）との連携活動」

2011年8月に設立されたイタセンネットは淀川のシンボルフィッシュと言われていたコイ科の魚イタセンパラを中心とした淀川の生態系の回復を目指し、淀川の原因風景を取り戻すべく外来魚駆除やゴミ拾いなどを行っている。

4～11月に月2回開催される定例保全活動には地域の小学校や、連携企業のイベントでの家族連れが観察会に訪れることもあり、その時は生きものに興味を持ってもらえるよう、地引き網を引いてもらったり、現物を見せたりしながらそこに生きる生きものたちの素晴らしさを伝えている。

また、エクスカーションで淀川を橋の上から一望し、歴史を踏まえ参加者に淀川の自然環境を伝えたりする機会もある。



■ 連携について

- ・2014年11月から保全協会は連携団体として参画
- ・保全協会のホームページにも活動を掲載、活動への誘致を行っている
- ・2018年4月より保全協会内の大学連携プロジェクトからの紹介で、大学生のイタセンネットの活動への誘致を行っている

※大阪市生物多様性戦略 具体的施策No.【 1,2,12,15,17,19,26,41 】 関連